

# 平成22年度学校経営方針

品川区立旗台小学校  
校長 佐藤 勝



## 1 学校経営の基本的な考え

教育は人なり 教師は常にこのことを念頭に、それぞれの全人格をかけて教育活動に励む。子どもたちの人格形成に多大な影響を及ぼすのだという自らの職責の重さに自覚を持ち、溢れる情熱と使命感を持って子どもと接する。

学校は、子どもたちのためにある

子どもの実態をよくふまえ、子ども一人一人の幸せを最優先する。そして、子どものために学校は何ができるのかを、何をしなければならないのかを考え、教育活動にあたる。そのために信念を持って「優しく」「厳しい」指導を行っていく。

学校は、保護者・地域のためにある

学校は保護者にとってかけがえのない子どもを預かっている。学校を安全で安心して過ごせる場にし、また確実に学力を定着できる場にする。また、地域の期待に応えるべく積極的に開かれた学校にする。そのことにより、保護者・地域住民から一層信頼される学校にする。

旗台小学校 校訓  
一．志をもった児童たれ  
一．志を育てる教師たれ  
一．志を育む学舎たれ

## 平成22年度キーワード 「めあて」を意識した生活

学校教育の基盤は、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など子どもたちに「生きる力」を身につけさせていくことである。同時に、学ぶことと働くことを関係付けながら、子どもたちに「生きること」の尊さを実感させる教育が重要である。つまり、「志」を持った児童の育成である。

特に、小学校時代は将来の進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期である。人間形成の基礎・基本となる内容を確実に学習させ、豊かな人間性を育てていかななければならない。そして、自分の将来に明るい見通しを持ち、「志」のある児童の育成のために、夢や希望を大切に、憧れる自己イメージを獲得できるようにしていく。

そのために、今年度は学校生活のなかで常に児童が「めあて」を意識した生活を送るようにしていく。この授業では何を学習しようとしているのか。この行事で、自分はどんな力を身につけたいのか、それを発達段階に合わせて常に明らかにした教育活動を推進する。そして、その結果を認め励ますことによって、より学校生活に意欲的な児童の育成を図っていく。

## 2 教育目標

教養ある人（かしこい子 しっかり学習する人）

心豊かな人（やさしい子 人に対してやさしい人）

健康な人（元気な子 元気でねばり強い人）

学校の教育活動は、全てこの教育目標の達成のためにある。この教育目標3つを常に念頭におき学校の全教育活動を進める。そして、全ての子どもが学校の教育目標を学校での生活のめあてとして自覚し行動できるようにする。

## 3 教職員に求める姿

旗台小の教職員は、常に自らを高める自己研鑽に取り組むと共に、教職員同士の切磋琢磨を通して、高い志を持つ。

学校経営方針をしっかり受け止め、常によりよい学校となるように一致協力する。

服務について、法令等を遵守し、互いに公務員として自覚を高め合い、常に明朗・快活で安定した心を保持できるようにする。

教育公務員の自覚を持ち、教育公務員としての服装・言動にこころがける。

学校に配当される学校予算は国民の税金であるという認識を持ち、校内では可能な限り無駄を廃する。リサイクルを徹底するなど学校資源を有効活用し、購入したものは直ちに使用するなど、学校予算を適正に執行するよう全教職員の意識を高める。

旗台小学校の子ども一人一人を全員で育てるという意識で教育に当たる。

指導上配慮すべき事柄については、全職員が理解し、共通実践をする。

指導すべき場面に出会ったら、誰もが児童理解を基本とした考え方できちんと指導する。

学習指導の方法についても、公開し合い、旗台小学校の子どもを9年間でどのように育てようとするか共通理解を図るとともに、それぞれがきちんと責任を果たす。

自分の学級に限らず子どものよい点を認めほめたり、担任に知らせたりして子どもの励みになる働きかけをする。

職務上の問題は一人で抱え込まないで、学校組織を活用し解決する。

自分の特技、特性を生かし、学校全体として最大限子どものために出来ることを探る。

校務分掌、学校事務について、互いに情報を交換し合い、効果的・効率的に処理する

各主任は、担当者と共に本校の課題を率先してとらえ、計画立案、実践・評価を積極的に推進する。

ファイリングの機能を一層生かすとともに、事務処理のコンピュータ化を進め、データの共有化をさらに高める。

分掌処理やコンピュータ活用の技術やアイデアについて、互いの経験を出し合い、よりよいものを創り上げていくようにする。

ホームページの作成に当たっては、担当範囲を明確にし、迅速に更新できるようにすると共に、保護者、地域の方々が楽しく、あるいは、便利に活用できるよう工夫する。

#### 4 小中一貫教育の充実のために

小中一貫教育を実施する中で、解決しなければならない多様な課題に対して、迅速に対応し、効率的・効果的な成果を出すための学校組織を構築し、それぞれの組織・チーム又はプロジェクト組織として動き、的確な結果を出していく学校を実現する。

義務教育9年間の中で自立できるよう、豊かで効果的な学習環境を提供できるようにする

- ・体験的な学習、問題解決型の学習、創造性を発揮する学習、個性を生かす学習、コミュニケーション力を身につける学習などを充実させ、豊かな学習環境を提供できるようにする。

基礎基本をしっかり身に付けられシステムづくり

- ・「つかみ・見通す」「調べ・確かめる」「話し合い・まとめる」「振り返り・発展させる」という学習活動を実現することで、学習する基本的な態度が身につくようにする

- ・少人数担当教諭及び講師・指導助手を加えての少人数学習・習熟度別学習を効果的に行うため、指導計画を見直し、基礎基本となる見方・考え方を学習した後、全学年で計画的に少人数学習・習熟度別学習を実施し、児童生徒の学力を保証する。

- ・繰り返し練習し身に付けるものについて、自ら目標を定め、家庭で学習する習慣を付けさせると共に、始業前の帯時間を活用し、成果を確かめることができるようにするとともに、5～6年生は「ステップアップ学習」を実施し、基礎基本の定着を図る。

小中一貫教育に基づいて、基礎学力定着を図るため小中の継続的な看取りを重視する

- ・学習カルテを作成し、児童生徒一人一人の学習状況を記録し、児童生徒一人一人への的確な指導を行い、児童一人一人の基礎学力の定着及び伸長を図るとともにその記録を中学に引き継げるようにする。

- ・荏原第五中学校の7年生の基礎学力の定着及び伸長を図るため、旗台小学校の教員を派遣し、指導体制の強化を促進するとともに、中学校教員の意識改革を推進する。

- ・小中間の諸課題に対して具体的に取り組む組織として、校務分掌に学校改革部を設置し、小中一貫教育推進のための計画・実施・確認・評価を行う。

教務部の中に、学習・進路相談窓口を設置し、学習に関する諸問題へのアドバイスができるようにする。

生活指導部は、児童の心身の健康を管理・指導することは基より、親及び児童の心に関する諸課題及び内容に対処するために相談窓口を設置し、個々の課題を解決するために共に考えられるようにする。

#### 5 生活指導の共通実践のために

旗台小学校は清潔で、子どもが心地よく楽しく落ち着いて生活できる学校とする

教師が「道理・心得」「マナー（習慣・礼儀作法）」児童生徒に徹底して指導し実践できるようにするとともに、「手順・手続き」、「約束」、「法令・規則」の違いを教師自身が心得、児童生徒に的確に指導し、実践させる。

清潔で、さわやかな教育環境を整える。（教室環境・職員室環境を含む）

いじめをしない、させない、思いやりと正義の行われる学校をつくる。

一人一人の子どもが、旗台小学校に所属する喜びや将来への夢や希望、自信、有用感を味わえるようにする。

「目をかける」「声をかける」「手間をかける」

#### 子どもをほめる3基準

一生懸命取り組み、努力しているとき...結果に、過程に、努力に  
他人やみんなのために尽くしたとき...親切、思いやり、協力的に  
よい考えを出し、それを実行したとき...模倣・空論より創造・実践のよさを

#### 子どもをしかる3基準

人権を侵害する言動があったとき...差別、身体や家庭などの悪口など  
生命を損なう行為が見られたとき...危険な遊び、暴力、集団でのいじめなど  
他人にひどい迷惑をかけたとき...故意に物を破損する、意地悪をするなど

## 6 授業の改善・充実のために

旗台小学校は日々、教師自らが学習指導を改善し続ける学校とする（授業改善は、日々の授業を少しでも良いものにしようとする教師自身の願いが実現を可能とする）

学習指導法の改善の基本的な考え方。

子どもの日常生活や問題意識との関連を重視する。

形式的な学習内容を形式的に指導することのないようにする。

- ・「課題をつかみ見通す」「調べ確かめる」「話し合いまとめる」「振り返り発展させる」という学習活動を全ての教育の場で実現することを目指す。

学習に対する興味関心を高め、意欲的に活動できるように導入を工夫する。

個々の子どもの多様な考え方が生まれ、生かされるように学習課題を設定し自力解決、認め合い高め合い活動を支える条件を整備する。

導入課題、主課題とまとめる内容とがきちんと対応づけられるようにする。

振り返り発展させる」段階で何をどのように発展させるのか具体的に調査し、指導計画に位置づけ、指導に生かす。

感動体験が得られる学習活動の実現に向けて

感動体験が得られるように活動場面を広く、豊かなものにする。

地域商店街から学ぶ活動、保護者・地域の方々とのふれ合い活動など様々な場での活動の可能性を調査、実現できるものを探っていく。

初めての出会いの場における学習課題の発見や知的好奇心の発露を大切にする。

- ・美しいものとの出会いの重視

理屈ではない、感性的なものであり、教師自ら感性を磨き共に感動する中で美しさを感じる豊かな心を育てたい。

- ・自分のこれまでの体験との違いからくる驚き、疑問、新たな発見が生まれるように問題場面を工夫する。

子どもを理解し、指導内容を理解する中で明確なねらいを持った場面設定が生まれることを常に念頭に置いてよりよい指導に心がける。

結果に対する自分の見通しや予測と実際の結果とのずれからくる「あれ、おかしいな。どうしてこうなるのだろう。」というような知的好奇心の発露を大切にする。

「問題をつかみ、個々に解決を試み、確かめ、まとめ・広げる」という児童の主体的な学習活動の中で「過ちにも価値がある」という指導姿勢の中で生まれてくる。

読書活動を豊かにし、語彙を豊かにしたり、想像力をつけたり、文章の展開を楽しんだりするように働きかける。

#### 成功感、達成感が得られる学習活動の実現

一人一人の子どもが自分の能力・適性に応じて学習課題を選択できるように工夫する。

モジュール学習における自己評価活動の充実を図る。

習熟度別学習、コース別学習、「ステップアップ学習」の場で、それぞれが自分の学習の方法や学習の成果を評価し、子ども自身がよりよい学習方法や学習課題を選択できるようにする。そのため、基礎基本となる見方考え方や表現処理の仕方がどのように活用・発展していくのかについて、中学校以上の学習内容についても調べ、発展的に学習できるようにする。

習熟度別学習では、つまずきの発見と治療を重視し、基礎基本の確実な定着を図る

過ちの中から多くを学ぼうとする姿勢をつくる

#### 共に活動する喜びが得られる学習活動の実現

次のような気持ちが沸き上がるように活動の場を工夫したり活動の良さを指摘したりする

- ・ 自分の考えが友達に受け入れられた。よさを認められた。使ってもらえた。自分の価値に気づいた。
- ・ 自分と違うアイデアを知って良かった。楽しかった。新しい世界が見えた。
- ・ いろいろなアイデアが生まれた。

アイデアや活動の価値を理解したり指摘したりできるように話し合い活動における助言を工夫する。

違いを認めたり、自分の思いを素直に表現しようとする意欲や態度を学級経営の工夫から育てていく

## 7 家庭・地域社会や他校とのかかわり

旗台小学校は、荏原第五中学校を中心とした学園構想をリードする

小中一貫教育をより推進するために荏原第五中学校との連携を強化し、また関係4小学校の教育をリードすべく、小中一貫教育の考え方や方法が的確に理解されるように連携強化を進める。また、学校公開やホームページ等を活用して各家庭や地域の理解と協力を得ていく。

家庭や地域の学校に対する要望について聞く場を設け、旗台小学校の教育の改善に活かす。  
地域や他校、諸機関の教育力を活用し、多様で効果的な学習を実現できるようにする。  
家庭の教育の在り方についても心の教育を中心に働きかけ、相談にのる。

本校の創意工夫による学習活動については、必要に応じて家庭や地域に意見を求め、より効果的に実践できるようにする。

## 8 安全管理体制の強化のために

### 来校者への対応

4月の生活指導全体会で本校独自の危機管理マニュアルをもとに、来校者への対応、校門の管理、校門から受付までの経路について教職員の共通理解を図り、安全管理体制を確立する。また、「声かけ運動」を継続して行い、その趣旨を校内に掲示する。

### 施設設備の管理と校舎内外パトロール

役割分担を明確にして、施設・設備の月1回の定期点検を行い、危険・修繕箇所は直ちに対応する。また、午前2回、中休み、昼休み、午後2回、副校長、用務主事、週番がパトロールを実施するとともに、危険箇所・修繕箇所の早期発見に努める。

### 不審者対応訓練

荏原警察と連携し、一学期に不審者対応の訓練、二学期にセーフティ教室を実施し、危機への迅速、適切な対応に備える